



### 3・4月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～世界で活躍するアーティストが新作を滞在制作～

3月から4月にかけて、城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

#### 1 ジョリス・ラコストの滞在制作と

ジュヌヴィリエ国立演劇センター・こまばアゴラ劇場 国際共同事業

ジュヌ セン

June Scene若手演出家交流事業「ジョリス・ラコスト『話し言葉の百科全書』をめぐって」公演

※ 3月の滞在制作だが、地域還元プログラムの参加者募集の関係から、2月の市長定例記者会見で発表済

#### 《参考》

##### (1) 滞在制作

###### ア 期間

平成27年3月15日(日)～3月28日(土)

###### イ 内容・特色

- (ア) フランスの劇作家・演出家のジョリス・ラコストが、2015年の新作『Suite no. 2』(スイート・ニューメロ・ドゥ)を城崎国際アートセンターで制作する。
- (イ) この作品は、クンステンフェスティバル(ブリュッセル、ベルギー)での世界初演(2015年5月)、アジア・アーツ・シアター(光州、韓国)でのアジア初演(2015年9月)のほか、各国で上演を予定している。

##### (2) 地域還元プログラム

###### 試演会

###### ア 日時

3月21日(土・祝)、22日(日) 両日午後2時～4時

###### イ 場所

城崎国際アートセンター スタジオ1

###### ウ 内容

ジュヌヴィリエ国立演劇センター・こまばアゴラ劇場 国際共同事業

Jeune Scene(ジュヌ・セン) 若手演出家交流事業

「ジョリス・ラコスト『話し言葉の百科全書』をめぐって」公演

- (ア) プロジェクト「話し言葉の百科全書」を紹介
- (イ) 観客参加型の即興作品の発表
- (ウ) ジョリスの友人、平田オリザを交えたトークショー

###### エ 参加費

2,000円

###### オ 申込み

電話またはメールで下記に申し込む。

〔電話・メール〕城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888 (受付 9:00～17:00  
火曜休館)

e-mail info@kiac.jp

〔オンライン〕青年団ホームページ <http://www.seinendan.org>



## 2 ダニエル・レヴェイエ (Daniel Léveillé danse) from カナダ 滞在制作

### (1) 滞在期間

平成 27 年 3 月 30 日 (月) ~ 4 月 12 日 (日)

### (2) 内容・特色

ア カナダ・ケベックを拠点に世界で活躍する振付家ダニエル・レヴェイエが、新作を城崎国際アートセンターで制作する。

イ 今回滞在制作するダンス作品『Solitudes』<sup>ソリチュード</sup>は、国際芸術祭「Festival TransAmériques」<sup>フェスティバル</sup>〔開催地：モントリオール (カナダ)〕で世界初演される。

### (3) 共同制作

キャンダンス クリエーション ファンズ  
CanDance Creation Funds (カナダ) ; Festival TransAmériques (カナダ) ; Kinasaki  
インターナショナル アーツ センター  
International Arts Centre (日本) ; Theater im Pumpenhaus (ドイツ) ; Centre  
コレオグラフィック ネイションズ リ リューラーバブ ユヴァル ピック  
chorégraphique nations Rillieux-la-Pape/Yuval Pick (フランス) ; Agora de la  
ダンス  
Danse (カナダ) ; Brian Webb Dance cie (カナダ) ; National Arts Centre (カナ  
ダ) ; Atelier de Paris-Carolyn Carlson (フランス) ; Studio Bizz (カナダ)。

### (4) 後援

ケベック州政府在日事務所、ケベック・アーツ・カウンシル

### (5) 地域還元プログラム

滞在制作成果発表会 『Solitudes』<sup>ソリチュード</sup> by ダニエル・レヴェイエ

#### ア 日時

平成 27 年 4 月 11 日 (土) 午後 2 時 ~、午後 8 時 ~

#### イ 場所

城崎国際アートセンター ホール

#### ウ 内容・特色

(ア) バッハのピアノ・コンチェルトに乗せた動きを中心に、コンテンポラリーミュージックが激しい情動、そして“ロックンロール”な関係性を探求していく作品。

(イ) 世界初演の前に、制作中の作品を見ることができるのは、今回の城崎のみ。

#### 《参考》

『Solitudes』制作にあたってのダニエル・レヴェイエからのメッセージ (和訳)

「前作『孤独、ソロ』のクリエイションを経て、テクノロジーを駆使したコミュニケーションツールがそこかしこにある今日、ここに描かれた“孤独”によってどのような親密な関係が可能か、という問いを立てねばならないと思った。この答えを探り当てるため、デュエットという形式を選んだ」

#### エ 参加費

無料

#### アーツカウンシルとは

イギリス発祥。日本語では、芸術評議会などと訳され、世界各国に設置されている。行政と距離を置く、専門家らによる第三者機関が、芸術文化に対する助成を基軸に、多様なアート活動について総合的かつ専門的に議論し、評価する。文化政策の執行を担う専門機関である。日本では、文化庁や東京、大阪、高松、沖縄などにある。



## オ 申込み

不要

### 〈プロフィール〉

#### 1 ジョリス・ラコスト (Joris Lacoste)

1973 年生まれ。パリで活動。2004 年から「プロジェクト W」、2007 年から「話し言葉の百科全書」という、2 つのコレクティブ・プロジェクト（集団プロジェクト）を始める。「話し言葉の百科全書」は、2009 年にソロ作品『議会』として上演されたほか、2014 年に初演された演劇『Suite no1』（スイーツ・ニューメロ・アン）が高く評価されている。同作品のワークショップバージョン『コラルール』は 2014 年に日本バージョンが、青年団国際交流プロジェクトとして制作・上演された（春風舎および TPAM、神奈川芸術劇場エントランスホール等）。

新作『Suite no2』（スイーツ・ニューメロ・ドゥ）は、クンステンフェスティバル（ブリュッセル、ベルギー）での世界初演（2015 年 5 月）、アジアン・アーツ・シアター（光州、韓国）でのアジア初演（2015 年 9 月）をはじめ、フランス国内外で多数の上演が予定されている。

2009 年には「睡眠言語」プロジェクトをはじめ、睡眠の芸術的な利用を探究し、ラジオドラマ、パフォーマンス、演劇上演、展示など多様な形態での発表を行っている。

#### 2 ダニエル・レヴェイエ (Daniel Léveillé)

1952 年、カナダ・ケベック生まれ。建築学を経て 1976 年にダンスのトレーニングを開始。1976 年停滞した当時のケベック社会を改革したフランソワーズ・サリバンとともに活動してきた。1991 年に自身のダンスカンパニーであるダニエル・レヴェイエ・ダンスを設立。1988 年からケベック大学モントリオール校教授。ダニエル・レヴェイエは、その作品において、執拗で挑発的に、あるいは少なくともそのようなものとみなされるくらいに、人間の条件、ダンス、身体、世界そして社会について、自身の認識を込めたいと常に考えている。

〔問合せ〕 豊岡市地域コミュニティ振興部生涯学習課 TEL 0796-23-0341

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888